

令和8年2月10日14時00分
近畿地方整備局
京都国道事務所
近畿道路メンテナンスセンター
向日市

橋梁点検新技術のデモンストレーションを行います

～令和8年2月17日 向日市管理の^{むこうし}赤見橋^{あかみばし}にて開催～

○京都府道路メンテナンス会議及び近畿道路メンテナンスセンターでは、向日市と共同で京都府下職員の参加により、新技術を活用した橋梁点検のデモを実施します。
○今回活用する新技術は、「溝橋の損傷を水陸両用ロボット及び水上フロートで把握する技術」と「スマートフォンによる3次元モデルを活用した点検支援技術」の2技術です。

1. 開催日時：令和8年2月17日（火） 14：30～15：30
（天候により延期となる場合があります。）
2. 開催場所：「^{あかみばし}赤見橋」（^{きょうとふむこうしてらどちやうひがしみどろ}京都府向日市寺戸町東御泥地内）【別添1】
3. 参加者：向日市職員、京都府内自治体職員、近畿地方整備局職員
4. 内容：向日市が管理する橋梁において、新技術を用いた点検のデモンストレーションを行い、道路管理者の技術力向上を図り、新技術の活用を推進します。【別添2～4】
5. その他：取材を希望される報道関係の方におかれましては、【別添5】の取材申込書に記入していただき、電子メールまたはFAXにて2月13日（金）12：00までに申込みをお願いいたします。
なお、報道関係の方は、当日会場にて14：15より受付を行います。

＜取扱い＞

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、京都府政記者クラブ

＜問合せ先＞

① 開催内容に関する問合せ先

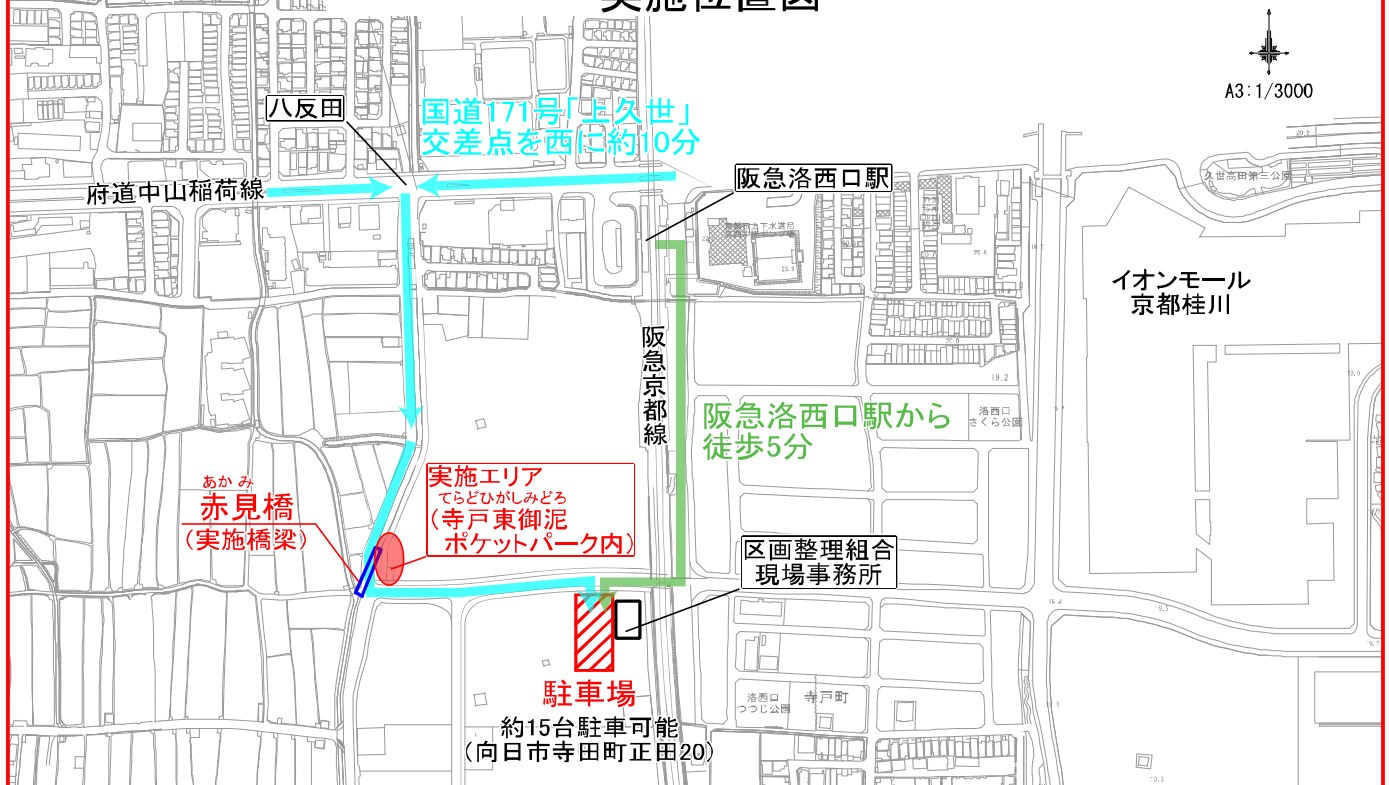
国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所
副 所 長 菅沼 幸江（すがぬま ゆきえ）
総括保全対策官 佐々木 知之（ささき ともゆき）
TEL 075-354-8122（管理第二課直通）
向日市 都市建設部 道路整備課 管理係
係 長 井上 智之（いのうえ ともゆき）
TEL 075-874-2896（道路整備課直通）

② 新技術に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター
技 術 課 長 石田 茂和（いしだ しげかず）
TEL 072-800-6222（代表）



橋梁点検新技術デモンストレーション 実施位置図



■出席者

向日市職員、京都府内自治体職員、京都国道事務所職員、
近畿道路メンテナンスセンター職員

■使用する新技術

- ①溝橋の損傷を水陸両用ロボット及び水上フロートで把握する技術
- ②スマートフォンによる3次元モデルを活用した点検支援技術

■スケジュール

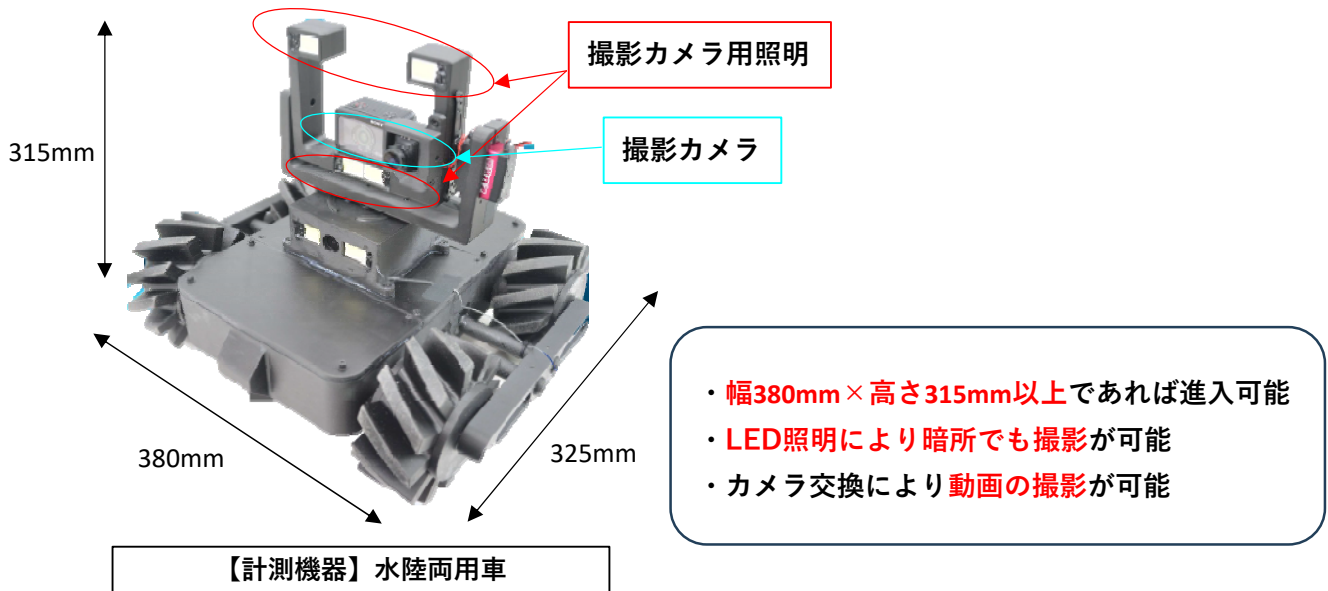
- 14：30～ 開会
- 14：35～ 新技術体験
- 15：10～ 意見交換
- 15：25 閉会

■使用する新技術

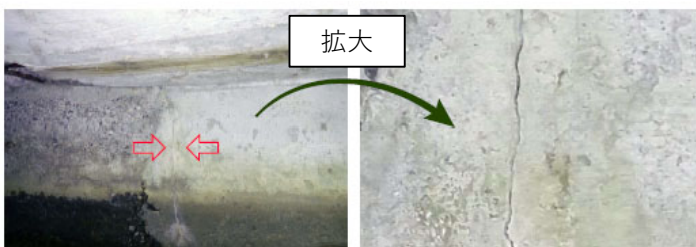
技術①：溝橋の損傷を水陸両用ロボット及び水上フロートで把握する技術

【技術概要】

溝橋やカルバートのような構造物について、内空が狭く人の立ち入りが困難な場所や危険性がある場合に、水陸両用ロボットまたは水中フロートを使用して画像を取得することにより損傷状態を把握する技術です。



作業状況



＜側壁のひびわれ＞



＜頂版の鉄筋露出＞

撮影写真

出典：点検支援技術性能カタログ、水陸両用車カタログ

【活用効果】

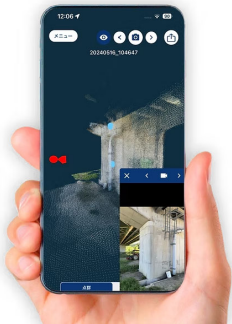
- ・従来技術（地上）と比べ、狭隘な箇所の作業がなくなり、橋梁点検員の安全性が向上する。
- ・従来技術（地上）と比べ、現場作業の効率化が期待できる。

【別添3】

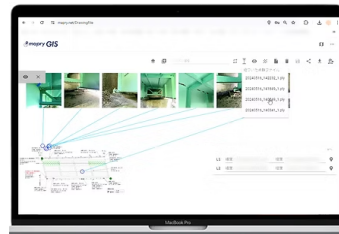
技術②: スマートフォンによる3次元モデルを活用した点検支援技術

【技術概要】

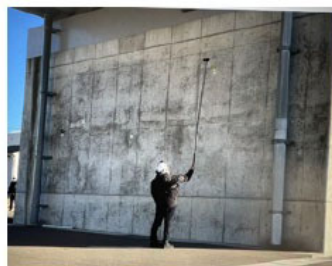
スマートフォンのLiDAR機能と写真撮影を組み合わせ、3次元モデル上に、撮影した損傷写真を自動整理。画像から部材寸法も取得することで、現地踏査から点検調書作成までを一気通貫で支援する技術です。



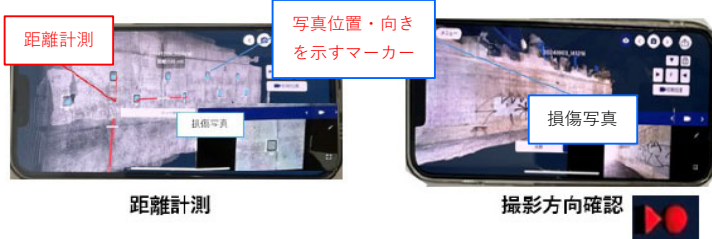
iPhoneアプリ
「mapry橋梁」



クラウドサービス
「mapryGIS」



撮影イメージ



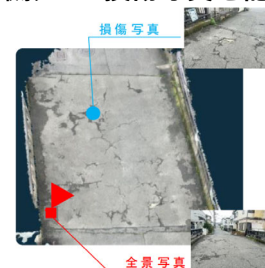
3次元モデルと損傷写真の紐付けモデル

技術利用イメージ

step1 「mapry橋梁」アプリの入った
スマホ等で現地撮影



step2 3次元点群画面上に
撮影した損傷写真を記録



step3 損傷の距離や面積、体積を
点群から自動算出



クラウド経由

step4 野帳上に写真を配置し写真帳
を出力、調書作成にも活用

出典: 点検支援技術性能カタログ、(株)ベシスコンサルティングHP

【活用効果】

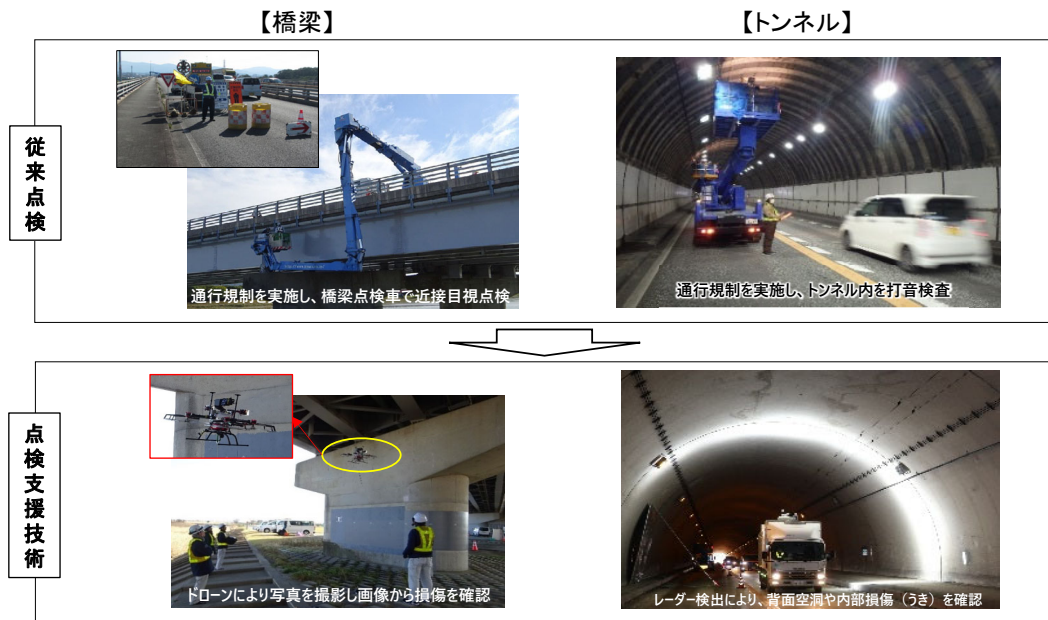
- ・従来技術(梯子、足場等)と比べ、点検時の交通規制が不要となり、社会的影響を削減できる。
- ・従来技術(梯子、足場等)と比べ、高所での作業がなくなり、橋梁点検員の安全性が向上する。
- ・従来技術(デジタルカメラ撮影等)と比べ、現場作業や内業の効率化が期待できる。

点検支援技術の活用について

【別添4】

近畿道路メンテナンスセンター

点検支援技術は、橋梁やトンネルなどの道路構造物における定期点検の高度化・効率化を推進するため、国土交通省において積極的に活用している新技術です。近接目視では点検が困難であった箇所における代替の点検手段となったり、高所での点検作業に変わって活用することによる安全性の向上、点検の効率化などが期待できる技術です。



国土交通省では、点検に活用可能な技術を「点検支援技術性能カタログ」として策定し、直轄国道の点検における点検支援技術の活用を原則化することで、地方公共団体など他の道路管理者における新技術活用を促しています。

近畿地方整備局では、各府県道路メンテナンス会議と近畿道路メンテナンスセンターが、点検支援技術のデモンストレーションを共同開催することで、各道路管理者に新技術活用を促しています。



<令和7年度開催状況>

過去の点検支援技術デモンストレーションの開催状況は、近畿道路メンテナンスセンターHPに掲載しています。



▲近畿道路メンテナンスセンター HP

【別添 5】

「橋梁点検新技術のデモンストレーション」

取 材 申 込 書

【電子メールによる申込】

送信先：京都府道路メンテナンス会議事務局

「会社名・所属部所等・氏名（ふりがな）・電話番号・メールアドレス」をメール本文に記載のうえ、（kkr-ml-otayori-kyoto@gxb.mlit.go.jp）に送信してください。

件名に「橋梁点検新技術のデモンストレーション」と記載してください。

【FAX による申込】

送信先：京都府道路メンテナンス会議事務局

京都国道事務所 管理第二課 宛

FAX 番号 075-351-3449

ふ り が な ※必須	
お 名 前 ※必須	
ご所属（会社名）※必須	
ご連絡先（TEL）※必須	
ご連絡先（MAIL）※必須	

〔備考〕

- ・複数名での取材を希望される方は、全員分のお名前、ご連絡先をご記入ください。
- ・送り状は不要です。
- ・お手数ではございますが、FAX送信後は、受信確認のため、下記の〔受信連絡先〕までご連絡ください。

〔受信連絡先〕

- ・京都国道事務所 管理第二課 TEL 075-354-8122（管理第二課直通）